

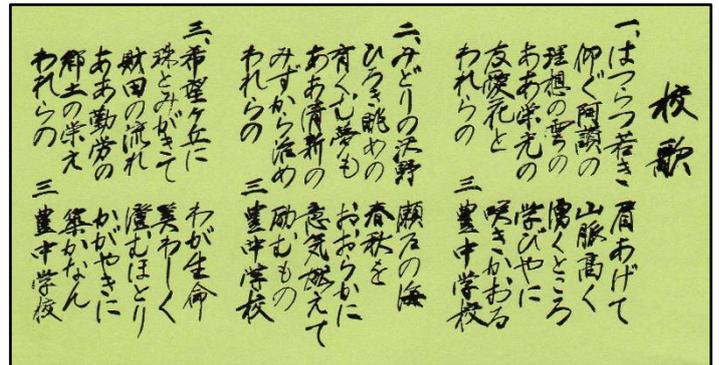


協和・自治自励・勤労

三豊中学校には、三つの校訓「協和・自治自励・勤労」があります。具体的に、いつごろ定められたのかはわかりませんが、校歌が昭和27年に作られているので、おそらく、それより前か同時期に定められたと思います。なぜなら、皆さん知ってのとおり、校歌の歌詞にこれらの言葉のことが盛り込まれているからです。一番に「友愛花と咲きかおる」〔協和〕、二番に「みずから治め励むもの」〔自治自励〕、三番に「ああ勤労の輝きに郷土の栄え築かなん」〔勤労〕とありますね。したがってこの校訓は、70年近く前の先輩方から、ずっと受け継がれてきたことがわかります。そう考えると、重みがあり、三豊中学校の生徒の気質として、大切にしたいものです。



さて、今回は、この中の「自治自励」ということについて、考えてほしいと思います。皆さんは、「自治」という言葉を聞いたことがありますか？「地方自治」などという言葉もありますね。「自治」とは、校歌の二番にあるとおり、「みずから治める」ことです。「治める」には、「統治する」「平和な状態にする」「混乱や災害が起こらないようにうまく処理する」というような意味があります。



自分たちの学校がどうあるべきかを自分たちで考え、自分たちの手でその実現のために活動する。さぼることなく、生徒一人一人が等しく一生懸命に自分の役割を果たす。そして、みんなにとって居心地が良く、自慢できる学校を作り上げる。私は、そんな生徒集団になってほしいと願っています。

そのためには、班で、学級で、学年で、委員会で、話し合うときに誰もが自分の意見を気兼ねなく言える。笑ったりバカにしたりする人がなく、誰の意見に対してもきちんと向き合い、耳を傾け考える。そして、少数派の意見も大切にしながら、みんなが納得いく形で意思統一を図る。そんな雰囲気を作り上げることが大切です。

「そんなのは、単なる夢だ。」という人がいるかもしれません。そう、これは夢です。でも、夢を語って何が悪い？「夢なき者に成功なし」という言葉もあります。こんな学校が作れたら、いいと思いませんか？皆さんならできるはずです。期待していますからね！

<三中生のちょっとした話>

先日の2年生A君との会話・・・私「A君の朝のあいさつは、一、二を争う元気の良さやなあ。」A君「じゃあ、一番になります。」

翌朝のA君は、宣言どおり一番の元気の良さでした！これからも続けようね。